



さむかわ

議会だより

第208号

令和5年12月1日
発行



さむかわ冬のひまわり(宮山)

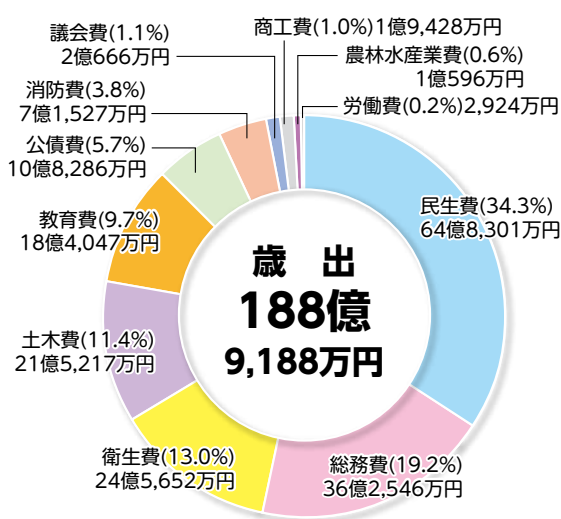
7月会議
8月会議
9月会議

CONTENTS

- | | |
|-------------|-----|
| ● 決算特別委員会特集 | P 2 |
| ● 議案審査 | P 7 |
| ● 一般質問 | P11 |
| ● 議会TOPICS | P16 |



決算概要



5日間にわたる決算審査

令和4年度一般会計・特別会計歳入歳出決算を認定

※金額と構成比 (%) は、表示単位未満を四捨五入しています。

特別会計決算概要

特別会計は、税金を中心とした収入により行政サービスを行う一般会計とは異なり、国民健康保険のようにそれぞれの保険料などで運営しています。下水道事業については、公営企業会計を採用しています。

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	49億2,620万円	47億8,177万円	1億4,443万円
後期高齢者医療事業	12億301万円	11億7,374万円	2,927万円
介護保険事業	36億5,827万円	34億2,869万円	2億2,958万円

区分		収入額	支出額	差引額
下水道事業	収益的	13億6,598万円	13億5,136万円	1,462万円
	資本的	13億4,465万円	18億2,034万円	▲4億7,569万円

※資本的収支の不足分は、留保資金などで補っています。



一般会計



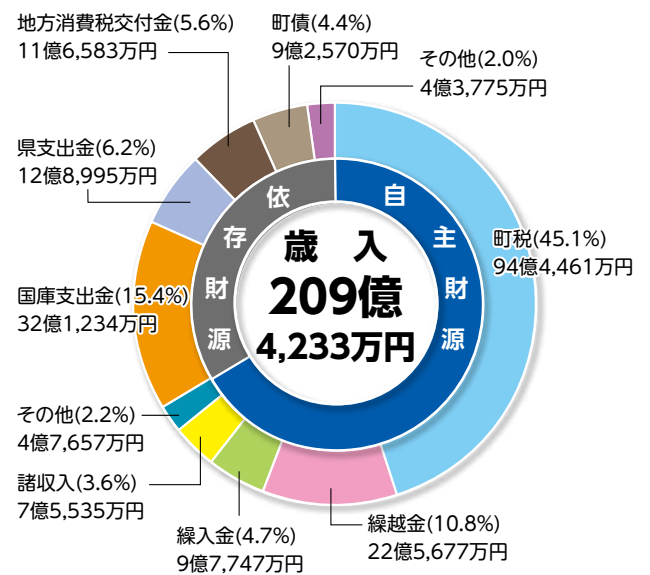
決算特別委員会
関口 光男 委員長
(公明党)

《審査意見書より抜粋》

令和4年度の予算は、寒川町総合計画2040第一次実施計画で取り組むべき事業を着実に推進させると同時に、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えたうえで、真に必要な取り組みを重点的に推進するという目標を掲げ、様々な事業が計画された編成でありました。

そのような中、下水道事業特別会計を除く寒川町一般会計及び、3特別会計の決算総額は、歳入で、307億2,981万1,357円、歳出では282億7,608万7,455円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、23億5,044万2,635円の黒字決算となりました。

コロナ禍といった特殊な状況下ではありましたが、総体的に見ても、令和4年度は健全財政が保たれており、本決算は適正なもの判断します。



今後も町では、義務的経費増加や本格的に事業開始された田端西地区のまちづくり、及び公共施設の再編といった大規模事業を控えているため、選択と集中の観点で、さらに工夫・改善に努め、町民の皆様からの負託に応えるべく、持続可能な魅力あるまちづくりを進めることで「住んでよかった」と言われるよう、効率的かつ効果的な行財政運営が進められることを期待するものであります。

なお、審査の過程において、各委員からの指摘や意見等については十分勘案し、今後の予算編成、執行にあたられるよう要望し、審査意見と致します。



審査意見書全文



本会議の映像

寒川総合体育館の設備充実を

Q スポーツを観戦・応援する場である寒川総合体育館において、より高度なゲームを誘致するために、電光掲示板を広域で連携し共同で購入・使用することについて、町の見解は。

A 付属設備を広域連携により共同で購入・使用することは、利用者の利便性から有用であると認識しています。自治体の財産に関する規定を踏まえ、どのような協力体制をとることができるか、今後研究します。

山上 秀樹 副委員長
(大志会)

障がい者支援制度の課題と

今後の取り組みは

Q 障がい児支援である早期療育についての考えと、環境整備は。また障がい児の生活を支える親たちの高齢化を受け、親なき後の支援の取り組みは。

A 障がいや発達状況に応じた支援を、身近な地域で早期の段階から受けられるよう支援することが重要と認識しており、ライフステージごとに早期療育へ適切につなげる支援を心掛けています。また親なき後を見据え、地域全体で障がい者の生活を支えるため、地域生活支援拠点充実事業などに取り組んでいます。



予備費の執行について

町の見解は

Q 予備費の執行に関し、次年度の予算編成に向けどのように改善していくのか。

A 行政内部の取り決めである、内規に基づく条件での執行を心掛けています。必要な予備費の措置については、法令根拠に基づき、適時適切な判断の下、与えられた執行権の範囲の中で総合的に判断し、対応します。

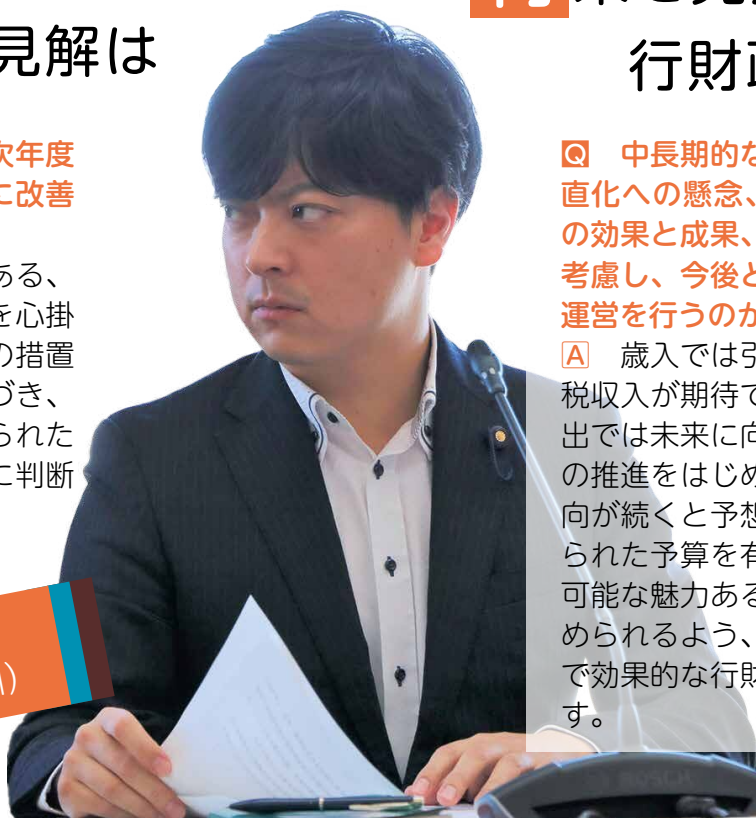
柳田 遊 委員
(フォーラム寒川)

将来を見据えた

行財政運営を

Q 中長期的な目線での財政硬直化への懸念、令和4年度決算の効果と成果、行政評価などを考慮し、今後どのように行財政運営を行うのか。

A 歳入では引き続き堅調な町税収入が期待できるものの、歳出では未来に向けたまちづくりの推進をはじめ、今後も増加傾向が続くと予想しています。限られた予算を有効活用し、持続可能な魅力あるまちづくりを進められるよう、引き続き効率的で効果的な行財政運営に努めます。



副業人材制度への挑戦を

Q 少子化の影響で、今後若手職員の採用において厳しい時代を迎える。専門的分野では副業人材制度を活用するなど、さまざまな人材活用制度に挑戦していく必要があると考えるが、町の見解は。

A 人口減少を背景とした安定的な人材確保は大きな課題であり、特に専門的な人材は、通常の採用では確保が難しい状況となっています。今後においては、社会情勢や町の現状を踏まえつつ、町のさまざまな課題の優先順位に鑑みながら、副業人材をはじめとした柔軟な雇用形態や活用手法について、引き続き研究します。

横手 旭 委員
(さむかわ自民党)

テクノロジーの進化 町の向き合い方は

Q 自動運転レベル4や生成AIをはじめとした、日々進化するテクノロジーに対して、町はどのように対応していくのか。

A 町としても、システムやテクノロジーの進展が早いということは認識しており、現在も、生成AIについて無償トライアルなどを活用した検証・検討を進めています。導入の検討段階において、利活用の方針やデータの取扱い・セキュリティの確認、導入契約書の作成など、しっかりとした準備を行い、正式に導入が決定された際には、遅れなく着手できるよう努めます。

平和推進事業の今後の取り組みは

Q 平和推進事業では、他自治体の事例を参考にすることなども必要と考えるが、今後は行政と町民による平和推進をどのように行うのか。

A これまで年1回だった平和パネル展を年2回実施します。また、広島、長崎に原爆投下された日に合わせ、防災行政無線による平和に対する意識啓発などを引き続き行います。今後も、核兵器廃絶平和都市宣言をしている町として、他の自治体の事例などを参考に、平和事業を推進します。

利用者に寄り添った福祉支援を

Q 福祉タクシー利用助成制度について、交付枚数や一度に利用できる枚数を増やすなど、物価高騰の中で利用者に寄り添った支援をすべきと考えるが、町の見解は。

A 福祉タクシー利用助成制度は、障がい者などの社会参加および生活圏の拡大を促進することを目的に、タクシー運賃の一部を助成するもので、経済的援助のみを目的とした制度ではありません。そのため町では現状の助成内容が妥当と考えていますが、利用実績を踏まえつつ、利用者アンケートの実施や近隣自治体の状況把握に努めます。

山田 政博 委員
(日本共産党)

令和4年度決算を

討論

二次元コードから本会議の映像をご覧いただけます。



賛成

フォーラム寒川

次年度予算編成に繋げる改善を評価

行政効果や経済効果を測定し、住民の代表として行政効果を評価することで、客観的判断に基づく行政評価が可能となり、今後の改善や反省事項の把握と活用に繋がり、それらが次年度以降の予算編成や財政運営に生かされ、町の財政運営の一層の健全化と適正化に役立つことを決算認定制度の意義と捉え、適法適切な予算執行であるのかを着眼点として決算審査に当たりました。

結果、さまざまな予算の執行があった中で、予算効果や行政評価がされ、次年度予算編成に繋げる改善を評価します。

令和4年度決算では、計画性・弾力性・積極性の3つの視点から、財政運営の適否を総合的に判断し、令和6年度の予算編成において、財政健全化に向け、町の行財政運営が地方自治法第2条第14項の規定に基づき、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を上げるよう予算編成されることを期待し、一般会計歳入歳出決算および他の4特別会計決算に賛成します。

反対

日本共産党

さらなる町民の福祉向上、暮らしの負担軽減を

一般会計歳入歳出決算では、収支は黒字となり、財政調整基金の残高も増えています。

コロナ禍から物価高騰の大変な時にもっと町民の福祉の向上、暮らしの負担軽減に使えたのではないのでしょうか。

平和推進事業は、他の自治体を参考に戦争を知らない未来を担う子供たちのためにも活発に行うべきです。

福祉タクシー利用助成は、利用率を引き上げるため、使い方の改善や交付枚数の増など利用者に寄り添った支援が必要です。

住宅リフォーム等建築工事推進助成金は増額することで経済循環効果につながるのではないかと思います。

少人数学級を拡充することは、ゆとりある教育で子どもたちのためにも有効と考えます。

以上のことから、一般会計歳入歳出決算について反対とします。

なお、他の4特別会計決算についても保険料の改善などさらなる負担軽減と国や県からの交付金の増額を求めるべきとして反対とします。

賛成

大志会

町の将来像の実現に向けた取り組みを評価

本町の財政状況は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づいた各種指標に鑑みても非常に健全であると判断します。

事業等に対する成果・効果等についての説明では、さまざまな取り組みが進められていました。新型コロナウイルス感染症に対しても、町民生活と地域経済の維持・確保が図られるなど、町の将来像「つながる力で新化するまち」の実現に向けた取り組みが着実に実施されたものと評価します。

今後は、プロスポーツにも対応可能な施設・設備の充実、障がい者福祉施策の支援制度の充実、産業活性化に向けた企業等の創業支援、ヤングケアラーを社会全体で支える仕組みづくり、教職員の多忙化解消も考えた部活動の地域移行の検討などが必要と考えます。

町民が「この町に住んでいてよかった」「今後も住み続けたい」と思ってもらえるよう、さらなる取り組みを期待し、一般会計歳入歳出決算および他の4特別会計決算に賛成します。

▼決算特別委員会 委員別賛否結果

委員名	会計区分				
	一般会計	特別会計			
		国保	後期高齢	介護保険	下水道
委員長 関口光男 (公明党)	—	—	—	—	—
副委員長 山上秀樹 (大志会)	○	○	○	○	○
委員 山田政博 (日本共産党)	●	●	●	●	●
委員 柳田遊 (フォーラム寒川)	○	○	○	○	○
委員 横手旭 (さむかわ自民党)	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 (関口委員長は、表決に加わりません。)

● 7月・9月会議 ●

寒川町のこんなことが
決まりました。

7月会議 会議期間 7月28日
9月会議 会議期間 9月27日から10月26日

7月・9月会議の議案は

町長提出議案・・・22件
陳情・・・1件

今号では
この中から
5つを
Pick up

※議案の会議録については、1月上旬にホームページに公開します。

〈議案第41号〉

Pickup 1

学校給食センターユニフォームレンタル等
業務委託に関する予算を補正します

寒川学校給食センターにおける、衛生環境保全のための栄養士や給食調理員のユニフォームのレンタルおよびクリーニングに関する予算については、単年度契約を想定し、令和5年度当初予算で計上されました。

しかし、さらなる検討により、長期契約とすることでより安価に契約遂行できることが判明したため、令和5年8月から令和8年7月までの3年間の長期契約締結に伴い、委託料を減額し、債務負担行為を追加するものです。

こんな質問がありました

Q 開業直前のこの時期に長期契約となった詳細な理由は。また課題や懸案事項などは。

A より良い調達方法や使いやすさ、投資効率など、現場の意見を検討部会などで十分に聞き取り、かつ業者への調査および検討を行った結果、長期契約が適切であると判断しました。

被服は相当数となりますが、ICタグを用いた管理を行うことで、ほつれや破れなど傷みの早期発見が可能となり、常に補修や交換が実施されます。サイズの随時変更を含め、トータル管理ができる安全安心な方法だと考えており、現時点で大きな課題はありません。

※債務負担行為は長期間にわたる財政負担が具体的であるなど、金銭給付による債務を負担する行為の内容を予算として定めておくこと。

Pickup 2

がん集団検診委託および
ウィッグ購入助成制度に
関する予算を追加します

社会保険加入者への検診勧奨通知によるがん集団検診受診者の増加および、がん治療に伴う脱毛症状の悩みに対処する目的で購入するウィッグの購入助成制度の申請実績により、予算を追加するものです。

こんな質問がありました

Q それぞれの具体的な内容は。

A がん検診の受診率向上のための新たな取り組みとして、今年度から社会保険加入者へも受診券を送付しました。その結果、検診定数に達するなど受診者数が増加していることから、予算を追加します。

ウィッグ購入助成は上限3万円として年間15件を見込んでいましたが、現在の申請実績を考慮して10件分を増額します。

Q がん検診について、
受診しやすくするための
配慮は。

A 子宮がん検診および乳がん検診における女性医師の配置や、ボランティアの方によるキッズコーナーの設置など、継続して取り組みます。

がん治療を受けている方へ

ウィッグ購入費助成事業 始めます。

～ウィッグ購入費の一部を助成します～

※川町では、がんの治療を受けている町民の社会生活を支援し、療養生活の質がより良いものとなるよう、令和5年4月1日より、がん患者ウィッグ購入費助成事業を開始します。

●助成対象者（次のすべてに当てはまる方）

1. ウィッグの購入日から申請する日まで引き続き町民に住民登録のある方
2. がんと診断され、治療を受けている（受けた）方で、脱毛に対処するためウィッグを購入した方
3. 本事業、他の助成制度等において、ウィッグ購入費の助成を受けていない方
4. 町税等の滞納がない方

●助成対象品

1. ウィッグ 及び ウィッグの装着時に必要となる頭皮保護用ネット（ウィッグの保管、手入れ等に使用するケア用品を除く。）

●助成金額

1. ウィッグ購入費（消費税を含む）の10分の9（上限3万円）

●申請期限

1. 助成対象品を購入した日の翌日から1年以内

●申請に必要な書類

1. 町民町がん患者ウィッグ購入費助成金交付申請書（第1号様式）
2. 脱毛の副作用があるがんの治療を受けていることを証明する書類（在宅医療、診療記録簿、治療方針計画書等の写し）
3. 助成対象品の購入年月日及び購入金額を証する書類（領収書等）（原本確認後返却いたします。）
4. 運転免許証、健康保険証などの写し（申請者本人確認のため）
5. 振込先のわかるもの（通帳等）の写し

Pickup 3

教育委員会委員等が決まりました

教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の任期満了により、次の委員について同意しました。

委員が決まりました

● 教育委員会委員

（任期 令和5年10月17日から令和9年10月16日まで）

山本博司氏

● 固定資産評価審査委員会委員

（任期 令和5年9月28日から令和8年9月27日まで）

池田忠雄氏
木内かず美氏
谷澤眞樹氏

〈議案第51号〉

Pickup 4

**PFI等選定委員会に関する
条例を制定します**

地方自治法の規定に基づき、公民連携手法（PPP/PFI手法）により公共施設を整備等する際の事業者選定の議論、結論、方向性を示す附属機関を設置するため、条例を制定するものです。

こんな質問がありました

Q PFI法に基づかない方式、例えばDB方式での事業者選定においても、この条例が該当するのか。また、事業者選定における評価・審査における懸念事項への対応は。

A 該当します。委員会は関係書類審査の段階から開催することを想定しており、懸念事項は解消されると考えています。

Q 透明性や競争性、公平性についての見解は。

A 町HPやプレスリリースにより公募を周知することで、機会の公平性を確保します。また企業利益を守る観点とのバランスをとりながら、審査過程において公開できるものは公開を行い、透明性を確保します。



※DB方式・デザインビルド方式。設計・施工を一括して発注する方式のこと。

〈議案第57号〉

Pickup 5

公共下水道使用料を改定します

下水道事業の経営改善を目的として、令和6年4月分から公共下水道使用料を改定するものです。

こんな質問がありました

Q 改定に当たり、町としての経費削減の取り組みは。

A 県内連絡協議会での情報共有、安価で質の高い最新技術や官民一体化マネジメント方式の導入検討などにより、経費削減に努めます。

Q 住民理解を得ることについて、町の見解は。

A 下水道運営事業の成り立ちや仕組み、経費削減策、他の行政サービスとのバランスなどについて、わかりやすい説明を町広報紙やHPにより行うことで、理解を求めます。

(単位：円)

区分	排水量	現行	改定後	増加額
基本料金	8㎡以下の分	747	919	172
	8㎡を超え20㎡以下の分	96	118	22
従量料金 (1㎡につき)	20㎡を超え50㎡以下の分	114	140	26
	50㎡を超え100㎡以下の分	150	185	35
	100㎡を超え200㎡以下の分	169	208	39
	200㎡を超え300㎡以下の分	186	229	43
	300㎡を超え500㎡以下の分	199	245	46
	500㎡を超える分	216	266	50

令和5年第1回定例会 7月会議 審議結果

議案番号	議案	会派名 議決結果	さむかわ自民党					大志会			フォーラム寒川		日本共産党		公明党			橋本修一
			横手 旭	杉崎 隆之	岸本 優	吉田 悟朗	天利 薫	山上 秀樹	佐藤 一夫	茂内 久代	柳田 遊	柳下 雅子	青木 博	山田 政博	太田真奈美	黒沢 善行	関口 光男	
7月 41	令和5年度寒川町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 (天利議長は、表決に加わりません。小泉議員、橋本議員は会派に属さない議員です。)

令和5年第1回定例会 9月会議 審議結果

議案番号	議案	会派名 議決結果	さむかわ自民党					大志会			フォーラム寒川		日本共産党		公明党			橋本修一
			横手 旭	岸本 優	吉田 悟朗	天利 薫	新村 賢志	山上 秀樹	佐藤 一夫	茂内 久代	柳田 遊	柳下 雅子	青木 博	山田 政博	太田真奈美	黒沢 善行	関口 光男	
42	令和5年度寒川町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	令和5年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
44	令和5年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	令和5年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	令和5年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	教育委員会委員の任命	同意	賛成：17票 反対：0票															
48	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
50	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
51	寒川町PFI等選定委員会条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
52	寒川町公共施設再編整備基金条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
53	寒川町森林環境整備基金条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
54	寒川町土地開発基金条例等の廃止	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
55	寒川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
56	寒川町国民健康保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
57	寒川町公共下水道使用料条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	
58	令和4年度寒川町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
59	令和4年度寒川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
60	令和4年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
61	令和4年度寒川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
62	令和4年度寒川町下水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
陳情第11号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	採択	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	

○：賛成 ●：反対 (天利議長は、表決に加わりません。小泉議員、橋本議員は会派に属さない議員です。)

※陳情第11号は可否同数のため、議長の裁決により採択されました。

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議の記録



各委員会の記録



議案・陳情等の資料



可決された意見書・決議



9人の議員が

一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、町議会議員が町に対して質問を行います。

二次元コードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。スマートフォンやタブレットでご視聴ください。



横手 旭 議員

関係人口を増加させ「稼ぐ」自治体になるべき



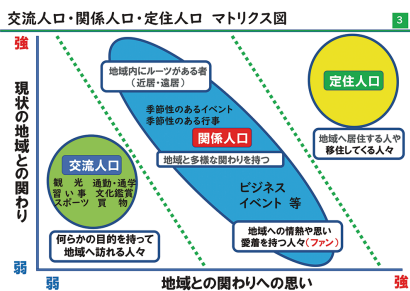
Q 関係人口の増加が今後自治体の重要課題であり、特に寒川町においては①にぎわい交流創出ゾーン、②ロケ地誘致、③ふるさと納税、この3つに力点を置き、「稼ぐ自治体」になるべきと考えるが、町長の見解は。

な意味では、自治体を経営するという視点から捉えますと、稼ぐ自治体という視点は、より明確に打ち出ししていくことが必要だと認識します。

ロビー活動の重要性

A 町内、いろいろな場面で、映画、ドラマ、コマースナルなどの撮影に使っていますが、体験型のふるさと納税の返礼品などをきっかけに寒川を訪れていただくなど、関係人口を増やしていく中でにぎわいの創造、あるいは地域の価値の創造を高めつつ、経済効果が得られる環境づくりも重要であると考えます。そのよう

Q 東海道新幹線新駅誘致の活動において、ロビー活動は重要なファクターと考えるが、町長はロビー活動をどのように捉えているのか。



一般質問で使用した議員作成資料より

A ご質問にあるロビー活動については具体的にはしていません。神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会の一員でもある神奈川県ならびに寒川町を含む10市町と共に、毎年JR東海品川本社にて要望活動をしており、また、技術相談も行っています。お話にあったロビー活動については、県ともう少し範囲を狭めた部分での動き・行動がこれからは考えられると思います。要望については、ポイントとなる自治体や県など関係者の方と行動を共にしていきたいと思えます。



小泉 秀輔 議員

高齢者の地域参画のために より確かなサポート体制を



町長から選挙時に70歳以上の免許返納者に向け公共交通利用の助成が示されたが、具体的にどう取り組むのか。

A 財政面や制度設計はこれからの調整ですが、コミュニティバスの無料パスポートや70歳以上の免許返納者に対するタクシー券について、メリット、デメリット、費用対効果を調査研究の上、検討します。

Q 高齢者の地域参画に繋がる情報の一元化は。

A 高齢者の地域参画、生きがいづくりを進めるため、情報をわかりやすく



コミュニティバス「もくせい号」
南ルートおよび倉見大村ルート運行車両

すく伝えること、簡単に必要な情報にアクセスできることが重要であると認識していますので、他の自治体の例などを含めて調査研究します。

Q 一人暮らしの高齢者に対する緊急時のサポート体制は。

A 必要な情報を記入したシートや保険証の写しを保管する救急医療情報キットの配布、緊急通報システムの活用を行っています。

多様性を尊重するまちづくりを

Q ファミリーシップ制度を現行のパートナーシップ宣誓制度に追加することを検討すべきでは。

A ファミリーシップ制度は、性的少数者の方やさまざまな事情により婚姻制度を利用できない、あるいは利用しない方々の生きづらさや困難の解消を図るとともに、人権が尊重され、一人一人の個性や多様な価値観、生き方を認め合う社会の実現に近づくものであると考えられるため、今後、調査研究します。



柳田 遊 議員

次世代の子ども達にツケを 残さない都市計画を問う



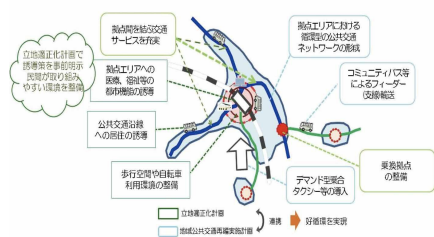
人口集中地区面積の推移から、都市のスプロール現象が町内で見られる。人口減少期に入れば、空き家・空き地などの未利用地が増加し、都市がスポンジ状になるリバー

スプロール現象が懸念される。現在から将来にかけて予想される課題に対し、立地適正化計画の策定や、まちづくり条例の制定など、中長期的な都市計画に基づいて政策立案し、まちづくりを進める必要があると考える。

次の世代により良い町を残すため、町の考えを問う。

A 町の方針は国が推奨する多極ネットワーク型コンパクトシティの概念と方向性を同じくするものと考え、柳田議員が言うミニ開発に伴うスプロール現象、少子高齢化による社会インフラの維持、更新にかかる将来負担の増加などの課題に対しては、対応策の一つとしてさまざまな都市計画の制度やまちづくり条例の必要性など、町の地域特性に適合し

た都市計画制度を活用してまちづくりを進めていきたいと考えます。開発の独自ルールを定めるまちづくり条例については、現在町では開発に関しては町開発指導要綱にて指導しており、建築行為については、建築物の高さ制限や地区計画などの制度も活用しながらまちづくりを進めています。また、町都市マスタープランにおいても、まちづくりの体制、取り組みを推進するための仕組み、制度の在り方などのルールづくりを掲げていることもあり、要綱では対応できない部分を補完する条例の制定を目指していきたいと考えます。



立地適正化計画の意義と役割
～コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進～
(国土交通省より)

※スプロール現象＝都市の急速な発展により、市街地が無秩序、無計画に広がっていくこと。



岸本 優 議員

参加体験型の防災訓練により
防災リテラシーを高めよ



Q 町民の防災リテラシー向上に向けた、町の取り組みは。

A 自主防災組織や各種団体からの要望に応じ、防災に関する講座を実施しています。また、毎年実施している防災講演会においては、気象や地震の専門家や震災経験者、防災士、自衛隊OBなどの専門家を講師に迎え、正しい知識を学べる機会の提供に努めています。

Q 町立小・中学校では、どのような啓発活動をしているのか。

A 各種ポスターやハザードマップを校内の廊下等へ掲示しています。引き続き、子どもたちが自分事として捉えることができるよう、啓発活動を行っていきます。

Q 町立小・中学校では、どのような防災教育がなされているのか。

A 火災や地震等における避難訓練を定期的に行い、防災に対する意識向上を図っています。また小・中学校の各教科において、防災についてそれぞれの視点から学ぶ題材を設定し、防災リテラシー＝災害を理解し、備え、行動し、危険を回避する力のこと。



2023年6月4日に開催された
消防操法大会の様子

け、工夫して授業を行っています。

Q 防災リテラシー向上へ向けた取り組みとして、子どもたちも含めて参加や体験を伴う防災イベントが求められるが、その考えや開催予定は。

A 講演や訓練を見学するだけでなく、参加や体験を伴った取り組みとして、令和6年度にさむかわ安全・安心フェアの開催を検討しています。防災に関する取り組みのほか、交通安全の啓発活動や消防団の操法などの催しと併せて開催することで、より効果的に町民の安全・安心意識の高揚が図られるよう、実施します。



青木 博 議員

移動支援・交通対策で
高齢者対策に取り組み



Q 令和3年の一般質問で「コミュニティバス南ルートの利便性向上は他手段含め検討する」と回答をしていた。その後の進展を問う。

A 町民を対象に地域公共交通に関するアンケート調査を実施し、現在策定を進めている町地域公共交通計画にて、南ルートの利便性向上も踏まえた地域公共交通の方向性を示すべく、現在作業を進めています。

Q コミュニティバス無料パスポートについて、県内で実施している自治体はあるのか。

A 完全に無料で行っている事例は

ありませんでした。綾瀬市では65歳以上の方を対象にした割引があり、また、65歳以上の免許返納者に有効期限付きのコミュニティバスの無料券50枚つづりが1回交付されます。二宮町では誰でも購入できる割引手形などがあります。

Q 高齢者の免許返納者に対するタクシー券助成について、県内で実施している自治体はあるのか。

A 鎌倉市が実施しています。

Q 町長は、町長選挙の選挙公報で、コミュニティバス無料パスポート、70歳以上の免許返納者へのタクシー券助成を挙げていた。実現に向けての決意を問う。

A 高齢社会、高齢化が進んでいる中で、移動手段の確保は非常に重要なポイントであり、多くの方から声をいただいています。

どのような支援が有効なのか、町の実情に合った移動支援、交通対策について検討を進めていきたいと思っています。



コミュニティバス乗降の様子



茂内 久代 議員

書かない窓口の導入により 住民サービスの向上を



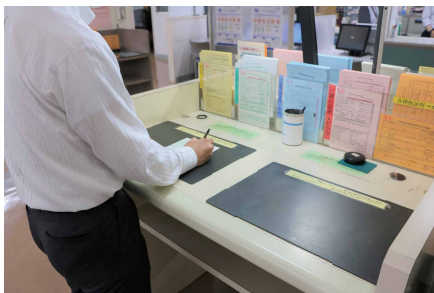
Q 役所の手続きを取り巻く課題として、たくさんのお申請書を書かされる、窓口を回らされる、時間もかかるなどがあるが、北海道北見市の「書かない窓口」を住民サービス向上の観点からどのように捉えるか。

A 北見市の「書かない窓口」は、手続きや待ち時間の短縮、窓口移動回数の減少、何度も同じことを書く必要がなくなるなど、デジタルの利便性が役所での手続きの煩わしさを解消するとともに、手続きの誤りを回避するなど、住民サービスの向上として必須の取り組みであると考えます。

Q 窓口に来た住民がどのように感じるか職員が実際に体感するのはどうか。

A 利用者の目線で窓口の状況を把握し、課題を認識することは、住民サービスの向上につながるものと考えますので、窓口体験調査の実施について検討します。

Q 「書かない窓口」の導入で窓口



町の記載台の様子

Q 職員の業務改善が図られると思うが。

A 書かない窓口の取り組みは、窓口対応職員の業務改善の観点で効果があると認識していますが、導入には申請書様式の統一、庁舎における窓口配置の変更等の調整が必要です。加えて令和7年度末までに、国が定める標準仕様に準拠した基幹システムへの更新が予定されており、それまでは対応が難しい状況です。しかし、マイナンバーカードを利用した新たな機械の導入により住民の窓口での負担軽減を図るなど、実現に向けた取り組みを進めます。



新村 賢志 議員

町の子育て環境について問う



Q 町の合計特殊出生率は。

A 令和2年1月1日現在の数値を用いた調査によると、令和2年の町の合計特殊出生率は1.31で、県内では高い方から5番目です。

Q 出生数・出生率を増加させるため、今後実施する事業はあるのか。

A 今後も今ある取り組みの見直しや行うべき事業の検討を行いながら、町で子どもを産み育てたいと思っただけのように努めます。

Q 産後ケアを行っている中で、町民の声を集める環境はあるのか。

A 母子保健コーディネーターが利用者や産後ケアを提供する助産院や

医療機関等との調整をしております。中でご意見などを聞いています。

また、産後ケアをご利用後に、電話等で利用してみたいの感想などを聞くようにしています。

Q 産後ケアの周知方法は。

A 町HPやさむかわ子育てガイドに掲載し、妊娠届出時の面談後にお渡しする子育てプランにも記載しています。産後の乳児家庭全戸訪問の際に改めて紹介し、面談の内容から育児サポートを得るのが難しいことが予想される方には、電話等によりご案内しています。

Q アプリ等を活用している自治体が増えているが、町での導入予定は。

A 町では県が取りまとめをしている電子母子手帳母子モアアプリを紹介しています。また、町公式LINEアカウントを登録していただき、そこから父親・母親教室、離乳食講習会、子育て広場など電子申請ができるようにしています。



※合計特殊出生率＝出産可能年齢である15歳から49歳の女性の年齢ごとの出生率を足し合わせ、1人の女性が何人の子どもを産むかを推計したものである。



町の急速充電器（現在は利用停止中）



佐藤 一夫 議員

低炭素社会の実現に向け 町の地球温暖化対策を問う



Q 第2次寒川町地球温暖化対策実行計画（行政編）は、町が具体的に計画を進めるために策定したのか。

A 事務事業に伴って発生する二酸化炭素排出量の削減目標を定めた計画です。この計画に基づき、公共施設で使用する電力の脱炭素化などの取り組みを進めています。

Q 公用車の電気自動車導入などに関する目標値を明確にしないと取り組みが進まないのではないかと。

A 二酸化炭素排出量の削減に資する具体的な目標値の設定など、他自治体の事例を参考に研究を進めます。

Q 電気自動車の普及促進に向けた充電器設置に対する考えはあるか。

A 充電器の設置にはいくつか方法がありますが、施設所管課と連携し、新たな充電器を設置する方向で、より適切な手法を選択します。

町職員の働き方と 健康管理について

Q 町職員の労働時間（労働時間の管理）の把握とその活用法は。

A 令和4年度から庶務事務システムを導入し、労働時間全体の体系的な把握が可能となりました。また各課における集計業務も効率化され、事務負担軽減につながっています。

Q 町職員の長時間労働の抑制と健康管理のマネジメントについては。

A 日々の上限時間を定め、業務を平準化していくことが効果的であるという認識の下、過重労働実施要綱に基づき労働時間の管理、運用を進めています。職員を過重労働から守る視点を持って、引き続き適切なマネジメントに努めます。



柳下 雅子 議員

4期目の町長の 行政運営について問う



Q 4期目はより充実したまちづくりが政策の柱だが、どのように施策の実効性を図り成果を出すのか。

A 計画的に取り組まねばならないものは、第2次実施計画の事務事業として搭載し、財源を担保しつつKPIの達成度をはかり、PDCAサイクルを回すことで施策の実効性や成果を出していきたいと考えます。

Q 最悪の事態を想定した国土強靱化計画の進捗管理状況は。

A 本計画では、事前に備える8つの目標と最悪の事態を想定した21のリスクシナリオを設定し、各部の推進方針を示しています。推進方針には関連する町の個別計画がひもつけられ、その中で推進管理をしています。実施事業一覧を作成することで、全体の把握をできるよう検討します。

Q 施策遂行に職員力の向上は必須である。職員の能力を発揮させる取り組みは。

A 人事評価制度の運用見直し等と

※KPI＝重要業績評価指標。

並行して、職員育成プランの抜本的な見直しを行います。

Q 自治の基本である審議会等への公募委員の欠員解消への取り組みは。

A 町広報紙やHP、SNS等での周知のほか、今後は公募委員を務めたいことがない町民の方々に直接アピールできるよう新たな企画を検討していきます。

Q 4期目の取り組みで、これだけはやい遂げるといふことは何か。

A 寒川町のまちづくりは行政のみでの対応にとどまらず、全町民共通の取り組みとの認識を共有し、「つながる力」の実現に全力を尽くします。



常任委員会 行政視察に密着！

町議会の委員会などでは、先進的な施策や取り組みを行っている全国の自治体への行政視察を実施しており、視察により得た知識や経験を基に政策立案を進め、町への政策提言につなげる取り組みを行っています。

今号では、7月に実施された各常任委員会の行政視察について報告します。

総務常任委員会

Check!

北見市

北海道北見市は「書かないワンストップ窓口」事業から申請手続きの時間の短縮、窓口を回る回数の軽減などにより住民サービスの向上を図り、受付を集約したことで窓口と庁内全体の業務時間を減らし、職員の業務改善につなげました。何が住民のためになるのかを追求した形で実現した北見市の取り組みを見せていただき、とても有益な視察となりました。



茂内副委員長

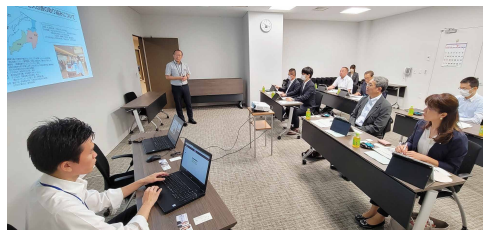
何よりも、住民にとってどのような行政体制がいいのか。住民の声をとても大切にすることが、まちづくりに必要だと改めて感じた視察でした。

函館市

北海道函館市の「地域交流まちづくりセンター」は、市民交流や市民活動支援、地域の情報発信を通じてまちづくりの拠点となっています。「できないこともできるように」と常に市民目線で地域のコミュニティを大切に、まちづくりのサポートをしていました。住民が願う地域での取り組みにおいて、協力体制が整っている素晴らしいセンターでした。



黒沢委員長



先進地視察に行くと、いつも担当者の方の業務改善に対する情熱を感じます。この熱量を寒川町にも届けていきたいと思えます。

Check!

視察日程	委員会名	視察先	視察内容
7月12日～14日	総務常任委員会	北海道北見市	書かない窓口について
		北海道函館市	函館の地域交流について
7月25日～27日	文教福祉常任委員会	京都府舞鶴市	子育て交流施設「あそびあむ」運営事業について
		岡山県赤磐市	部活の地域移行について
7月3日～5日	建設経済常任委員会	静岡県浜松市	スタートアップ支援事業について
		岐阜県岐阜市	シビックプライド事業について

文教福祉常任委員会

舞鶴市

令和4年度に「子どもの豊かな育みを支える環境づくり推進本部」を設置。妊婦の時期から支援を切れ目なく実施しており、訪問事業では民生委員との協力体制が構築されています。子育て支援拠点「子育て交流施設あそびあむ」は広大な敷地の中、親子で豊かな遊びを通して学び・育ち・交流のできる施設でした。子育て施策を深める大変有益な視察でした。



赤磐市

スポーツがとても盛んな地域であり、磐梨中学校は令和4年度にスポーツ庁の委託事業

として国のモデル校に指定されています。磐梨 Dream Townプロジェクトを通して地域連携部活動を進め、磐梨中学校の教育力向上と地域の活性化を図っています。寒川町が目指す部活動のあるべき姿に向けて、一つの成功事例として大変参考になりました。

Check!

寒川町の子育て中の皆さんに対するサポートを充実していくため、舞鶴市の施策は大いに参考になりました。



佐藤委員長



橋本副委員長

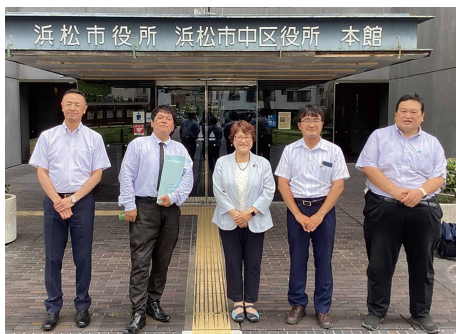
地域の子どもを育てることや、スポーツや文化に親しむ環境を確保するために、地域の特性を最大限に活用した取り組みが大切です。

Check!

建設経済常任委員会

浜松市

浜松市は世界屈指のものづくりの企業の集積地です。近年の少子高齢化による人口構造の変容やコロナ禍による生活様式の転換など、ものづくり産業に及ぼす影響に対応するためには、新たな価値創造によるイノベーションが求められ、それに対応するための創業支援、特にスタートアップ支援を先進的に推進していることから、視察しました。



Check!

シビックプライドを醸成する、魅力あるひと・モノ・場所の情報を、市民自ら観光コンテンツとして発信する新たなカタチに感心。



横手委員長

浜松市では創業支援の取り組みが参考となり、町として実現可能な支援があれば提言します。



山上副委員長

Check!

岐阜市

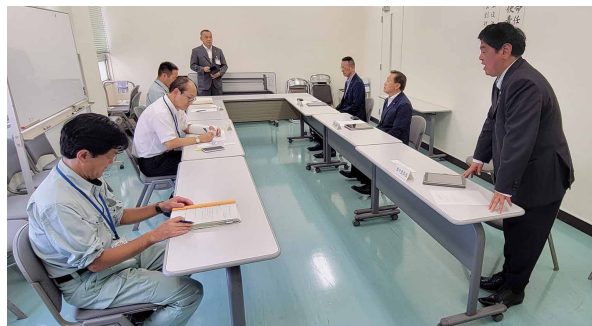
岐阜市のシビックプライドプレイスは複合文化施設内にある施設で、同じ敷地内には岐阜市役所があり、岐阜市のランドマーク的な場所でもあります。図書館や市民活動交流センターなどのさまざまな施設から情報が得られ、市民がこのまちで楽しく幸せに生きていくために必要な情報を発見し、発信し続けることを目的としています。



県藤沢土木事務所に要請訪問しました

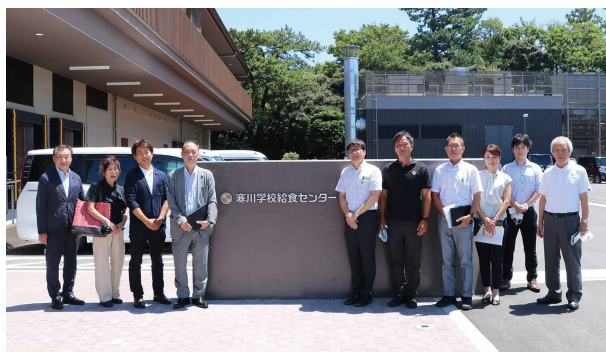
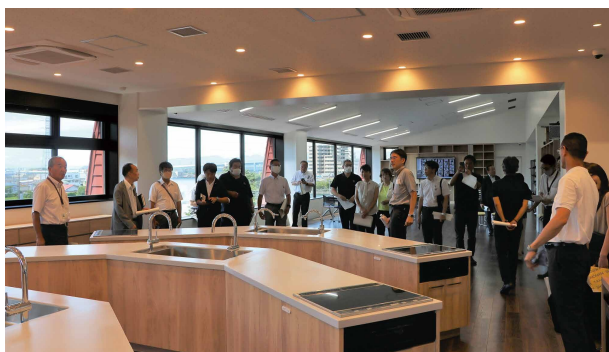
建設経済常任委員会では、町内における道路事業および河川事業関係の要請を行うため、7月28日（金）に県藤沢土木事務所に要請訪問しました。要請内容は次のとおりです。

- ① 県道410号湘南台大神の整備促進について
- ② 都市計画道路中海岸寒川線（寒川INTT以東）の整備促進について
- ③ 小出川の河川改修について
- ④ 目久尻川の雨水対策について
- ⑤ さがみグリーンライン整備について



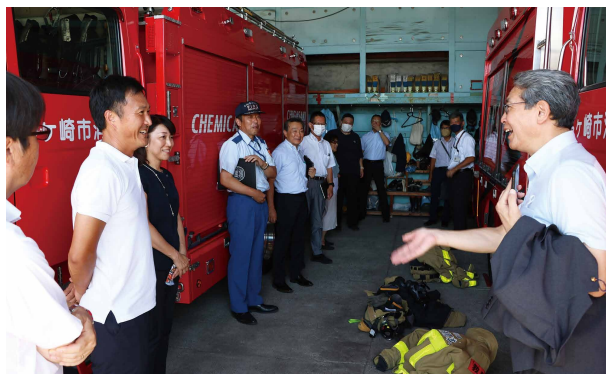
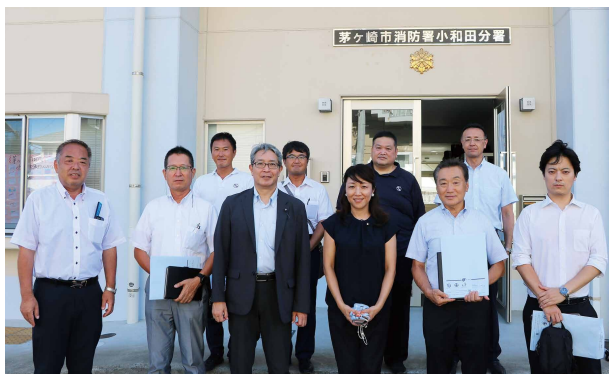
寒川学校給食センターを視察しました

文教福祉常任委員会では、令和5年9月から始まる町立小・中学校完全給食を前に、8月2日（水）に寒川学校給食センターを現地踏査しました。



茅ヶ崎市消防署等を視察しました

総務常任委員会では、8月8日（火）に茅ヶ崎市消防署、茅ヶ崎市消防本部指令情報課、茅ヶ崎市消防署小和田出張所を現地踏査しました。



新議員の紹介

8月27日（日）執行の町議会議員補欠選挙において新村賢志氏が当選しました。また、8月31日（木）に8月会議を再開し、所属委員会が決まりましたので、お知らせします。



皆さまからのご声援をいただき、当選した事を心より感謝申し上げます。私は健康と子育てがしやすい町を目指して、皆さまの声をしっかりと聞き、町の未来のために取り組みます。どうぞよろしくお願い致します。

所属委員会：文教福祉常任委員会、建設経済常任委員会、寒川北インターチェンジ周辺対策特別委員会

研修会を開催しました

町議会では、10月30日（月）に「誰も自殺に追い込まれることのない町」を目指し、また、いざという時に救える命を救うため、ゲートキーパー養成研修および普通救命講習を受講しました。



行政視察の受け入れ

寒川町議会では、当町の各事業について、他議会からの視察受け入れを行っています。令和5年4月から10月末時点で5団体の議会が当町を視察されました。

自治体名	視察日	内 容
宮城県利府町議会	4月26日	・インターネットを活用した情報発信について ・移住・定住促進への取り組みについて
香川県綾川町議会	7月 7日	・災害時の自治体としての備えについて ・eマーケティングリサーチ制度について
長野県宮田村議会	8月 3日	・常任委員会における議員問討議の体制整備について ・一般質問において議場モニター活用による資料掲示を実施可能とする体制整備について
福岡県芦屋町議会	8月21日	・議会活性化の取り組みについて
北海道新得町議会	10月31日	・議会改革の取り組みについて



議会を傍聴しませんか



傍聴は、当日受付していただければどなたでもできます。

寒川町議会のホームページでも、会議の日程や議会の傍聴案内、請願や陳情の手続き、議員名簿等が閲覧できます。

ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

●議会事務局 総務担当 TEL 0467-74-1111 (内) 341・342

インターネット
中継はこちらから



12月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28 本会議 (議案上程等)	29	30 本会議 (議案質疑等)	12/1 総務常任 委員会	2
3	4 文教福祉 常任委員会	5 建設経済 常任委員会	6	7 東海道新幹線 新駅対策 特別委員会 寒川北インター チェンジ周辺対策 特別委員会	8	9
10	11 本会議 (一般質問)	12	13	14	15 本会議 (委員長報告等)	16

午前9時開会 (会議の日程等は変更になる場合があります)

※12月7日(木) 寒川北インターチェンジ周辺対策特別委員会は午後1時15分開会

※12月15日(金) 本会議は午前10時開会



広告

寒川町商工会 **ビジネススキルアップに！**
資格取得対策に！

パソコン教室



★入学金・教材費なし！

授業料 1回(50分) **1,200円**

別途 機器使用料 1回 200円 ※商工会会員様は無料
教室維持費 1ヶ月 1,300円

★選べるeラーニング 40講座

Word/Excel/PowerPoint/業務効率UP講座/
メール・ビジネスメール/日商簿記3級/弥生会計/
日商PC検定対策/MOS試験対策 etc.

無料体験・説明会実施中！

お電話またはホームページにてご予約ください

寒川町宮山 141-1 寒川町商工会 2階
【無料駐車場あり】

■開校日時: 月~土(祝日除く)
■電話受付: 月・火・木・金・土 9:00~18:00
水 9:00~21:00

TEL: 0467-81-3113

(寒川町商工会パソコン教室)

ホームページは
▼こちらから！



インターネットラジオ やってます

寒川町議会では、町民の皆さまに議会をもっと身近に感じていただけるように、「Radio Sam Sweet (NPO法人湘南さむかわラジオ)」で「議会通信～さむかわの未来～」を配信しています。二次元コードからアクセスできます。ぜひお聞きください。

- 日時 毎月第4日曜日 「高座」
午前11時30分～正午
- URL <http://sam-sweet.com>

寒川町議会



▲Radio Sam Sweet ホームページ